

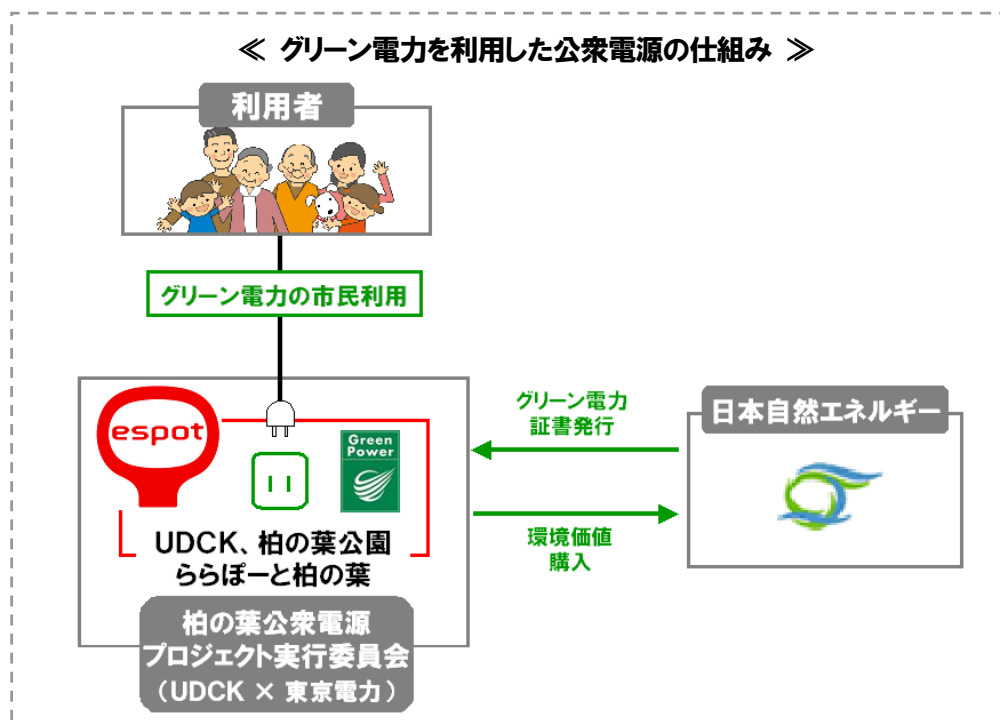
公衆電源ステーション「espot」の社会実験を3月20日より開始 千葉県柏市・柏の葉地域において、500名の一般利用者を対象に実施

公・民・学が連携した街づくり組織、柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK、所在地:千葉県柏市)は、東京電力株式会社と協働し、千葉県柏市・柏の葉地域で街中に複数の公衆電源ステーション「espot(エスポット)」^(※1)を設置して自宅外でも手軽に電気利用を可能とする公衆電源サービス^(※2)の社会実験を、2010年3月20日から8月29日まで実施します。

今回の社会実験では、利用ニーズの把握や、サービス提供に必要な技術・認証・オペレーション等を検証するために、500名の一般利用者を体験モニターとして募ります。モニターには、「espot」利用の際に必要な認証カード^(※3)として専用の非接触ICカードを発行します。なお、今回の社会実験で使用する電力はすべて、自然エネルギーによってまかなわれるグリーン電力^(※4)となります。

柏の葉地域は、千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、公・民・学が連携した次世代環境都市づくりが進められています。最先端の技術や文化を世界に発信していく「イノベーション・フィールド都市」を目標のひとつに挙げ、これまでも電気自動車・セグウェイなど環境に優しい次世代交通システムの社会実験や、LED光源で無農薬野菜を栽培する植物工場の社会実験など、様々な実験展開を市民参加型で実施してきました。

国内では通信分野において古くから公衆電話や公衆無線LANなどの形で公衆化が進み、電化製品のモバイル化も急速に進んでいます。今回は、社会実験を通じて電力についても公衆化を図ることで、電源場所やバッテリーを気にすることなく気軽に電化製品の利用ができる環境を実証的に検討します。また、これまでグリーン電力は企業間取引が一般的でしたが、公衆電源サービスを通じて一般個人でも気軽に利用できる仕組みとすることで、環境配慮型電力の地域普及を促進させます。公衆電源の普及は、地域住民や来街者にとっての利便性向上のみならず、既存の利用シーンにとらわれることなく新しい視点での製品・サービス開発を推し進めるものとして、期待しています。



実験期間中、UDCK ではモニターに対して IH ホットプレートや電気ケトルなどの電化製品の無料貸出を行い、「espot」の利用促進を図ります。また、UDCK では毎月 1 回、地元の農家や惣菜屋などが出店する地産地消の市場「マルシェコロール」を開催しており、社会実験開始日となる 3 月 20 日には当イベントと連動したモニター登録キャンペーンとして、地元の精肉屋との協力による「espot」体験・手作りホットドック企画などを実施します。

公衆電源サービス「espot (エスポット)」社会実験の概要

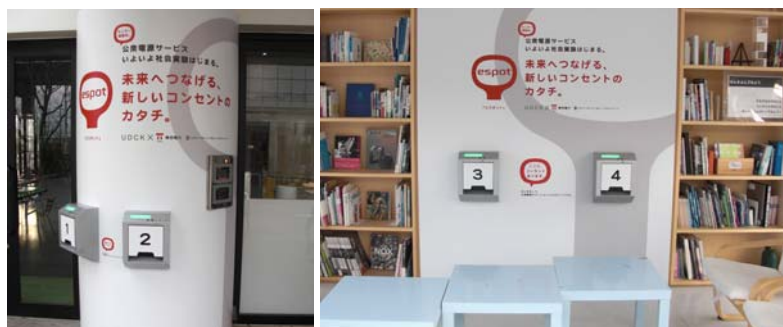
[実験期間] 2010 年 3 月 20 日(土)～2010 年 8 月 29 日(日)

[電源設置場所] 下記 4 カ所に設置(コンセントは合計 16 個)

- ① 柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)「オープンデッキ」
- ② 千葉県立柏の葉公園「公園センター」
- ③ ららぽーと柏の葉 1 階「エントランス(千葉大学方面)」
- ④ ららぽーと柏の葉 3 階「フードコート(コミュニティダイニング)」

[利用者] 3 月 20 日より一般募集するモニター(先着 500 名、UDCK で登録受付。問い合わせは事務局まで)

[利用料] 社会実験につき無料



UDCK のオープンデッキに設置した公衆電源ステーション「espot」



espot 会員カード(認証用の非接触 IC カード)

※1 「espot」とは

公衆電源サービスが受けられる場所の愛称です。実験期間中は、モニター登録をすることで誰でも気軽にコンセントを使うことができます。

※2 公衆電源サービスとは

「espot」に設置されている給電装置(コンセント)から給電を受けられるサービスのことを指します。

※3 認証カードとは

「espot」で公衆電源サービスを受ける際に必要となる、FeliCa(フェリカ)を使った非接触型 IC カードです。モニター登録した利用者全員に発行されます。各「espot」には、給電装置とともに認証盤(カードリーダー)が設置されており、認証カードによる利用者の認証確認を経てコンセントからの給電が開始されます。なお、今回発行する認証カードは、街のコミュニティサイクル「スマートサイクル」を利用する際の認証媒体としても活用が予定されており、今後はさらに幅広い街のサービスとの機能連携を検討していきます。

※4 グリーン電力とは

風力、太陽光、バイオマスなどの自然エネルギーを使い、CO2 を発生させずに発電された電力。グリーン電力は第三者機関(グリーンエネルギー認証センター)の認証を得た「グリーン電力証書」という形で、日本自然エネルギー株式会社を介して発電事業者と利用者との間で取引されます。今回の espot 社会実験では、使用する全電力量相当(1,000kWh)の「グリーン電力証書」を購入して実施します。

【柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)について】

東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の 7 団体が共同運営する公・民・学が連携した街づくり組織として、2006 年 11 月に設立。つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」周辺を中心とする柏の葉地域を対象に、「環境・健康・交流・創造」をキーワードとする国際学術都市・次世代環境都市を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の実現に向けて、都市計画の調査・策定・推進、社会実験、市民活動のサポート、情報発信等を行っています。

【本件に関するお問い合わせ先】

◀一般の方のお問い合わせ先▶

柏の葉公衆電源プロジェクト実行委員会 事務局
 担当：中里、石原
 TEL：080-3097-8365
 MAIL：espot@udck.jp

◀報道関係の方のお問い合わせ先▶

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)
 広報担当：小林、蛭川
 TEL：090-3510-5586 / 04-7140-9686
 MAIL：ma-kobayashi@udck.jp